関西骨髄バンク推進協会ニュース

— vol.73 —

Combined 献血と骨髄バンクの和を広げる会だより

2021年の関西協会のドナー登録会は473回4,001名、大阪府は4,800名、全国の年間新規登録の約15%を占め、トップとなりました。これはドナー登録の推進に関わる全ての人々の不断の努力の結果であると感謝いたします。
コロナ禍も未だに収まらないなか、今後もいろいろな制約を受けながらの活動になりますが、ドナー登録の推進に向け、これからもよろしくお願いします。

【発行】NPO法人
関西骨髄バンク推進協会
大阪市城東区森之宮2-4-43
大阪府赤十字血液センター新館6階

石川新理事長 ご挨拶



令和4年6月、関西骨髄バンク推進協会 理事長に就任しました 石川 淳(いしかわ じゅん)です。これまで本協会の理事長をつとめられてきた、正岡徹先生、柴田弘俊先生、河敬世先生は、日本の骨髄移植(造血幹細胞移植)をリードされ、まさにメンターとお呼びするのにふさわしい先生方です。私自身もこれまで直接的、間接的に多くのことを教えていただいた先生方でもあります。今回、理事長就任にあたり、3人の先生方に教えていただいた事を胸に取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、1988年血液内科医を志し、部長の正岡徹先生はじめ、柴田弘俊先生など錚々たるメンバーがいらっしゃった大阪府立成人病センター 第5内科(現在の大阪国際がんセンター血液内科)のレジデントとなりました。その後、大阪大学医学部附属病院第2内科での骨髄移植の立ち上げなどにたずさわり、2008年より大阪府立成人病センター(現大阪国際がんセンター)血液内科の責任者となり、現在に至っています。この間、HLAの一致した兄弟間の骨髄移植だけが可能であったレジデント時代に始まり、骨髄バンクを介した骨髄移植の開始、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植、ミニ移植、HLA半合致移植と、この30数年間に進歩してきた造血幹細胞移植に医師として関わってこられたことは大変幸運であったと思っています。また、この間に移植医療をとりまく環境も大きく変わってきたことも実感しています。

現在、日本では毎年4000件弱の造血幹細胞移植が行われています。そのドナーソースは、血縁者間(家族間)と非血縁者間(骨髄バンク)と臍帯血がほぼ同数となっています。移植医療が進み、臍帯血移植や家族間のHLA半合致移植が可能となっておりますが、造血幹細胞移植のゴールデンスタンダードはやはりHLA一致移植であることは変わりません。

日本骨髄バンクでは、コーディネート期間の短縮などシステムを改善すべく取り組んでおられますが、その基本はやはり骨髄バンクの登録者を増やすことだと思います。

私たち関西骨髄バンク推進協会は、献血併行型ドナー登録会、説明員研修事業など地道な活動を通じ骨髄バンク登録者数増加に貢献し、より多くの患者さんがより適切な時期に造血幹細胞移植をうけることができるようにすることを使命としています。皆様方におかれましては、今後ともご指導ならびにあたたかいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

関西骨髄バンクの現状と今後の課題について（一部抜粋）

大阪母子医療センター 血液腫瘍科顧問　　河 敬世（当会顧問、前理事長）



医療関係者ならびに患者・家族、ボランティアの皆様のご尽力が結実し、1991年に日本骨髄バンクが設立された。現日本骨髄バンク理事長の小寺良尚先生と国会議員会館に陳情に行ったことが懐かしく思いだされる。本協会は、初代理事長の正岡 徹先生ならびにボランテイアの藤岡八重子氏らのご努力で2003年に設立された。 正岡先生と共に造血幹細胞移植のパイオニアであられた柴田弘俊先生が二代目の理事長を引き継がれたのが2016年であったが、2017年に急逝され、正岡先生のご指名で小生が三代目の理事長を仰せつかった。本年（2022年）の6月の理事会で、四代目の理事長の石川 淳先生に無事大役を引き継いでいただき感謝申し上げる。

NPO法人関西骨髄バンク推進協会は、骨髄バンクの使命である造血幹細胞移植を必要とするすべての患者さんに、必要な時に、最適のドナーを提供できる態勢を確立・維持すべく、ドナーのリクルートに鋭意努力し、コロナ感染で全国的にドナーリクルートが停滞する中、右肩上がりの実績を挙げてこられたのは、説明員をはじめ関西協会にかかわるすべての皆さまのご尽力のたまものであり、ここで改めて感謝申し上げたい。

（紙面の都合により一部を抜粋して掲載しています、全文は関西協会のホームページにアップさせていただきます）

第19回総会（6月18日11:20～50）の報告

監査報告 事業報告ののち下記4議案につき承認されました。

第1号議案 活動計算書案承認の件、第2号議案 2022年度事業計画案承認の件

第3号議案 2022年度活動予算案承認の件、第4号議案 役員選任案承認の件

（議案書及び議事録は事務局にて保管しております、閲覧希望の方はご連絡ください）

2022年度予算

	2021実績	2022予算
収入の部		
会費	414,000	450,000
寄付金	3,084,676	3,200,000
事業収入	423,900	500,000
委託料他	325,042	325,040
計	4247,618	4475,044
前期繰越	6,880,334	6,563,544
収入合計	11,127,952	11,038,588
支出の部		
事業費	3,299,122	2,835,440
管理費	1,265,286	1,601,360
計	4,564,408	4,436,800
次期繰越	6,563,544	6,601,788

新役員体制

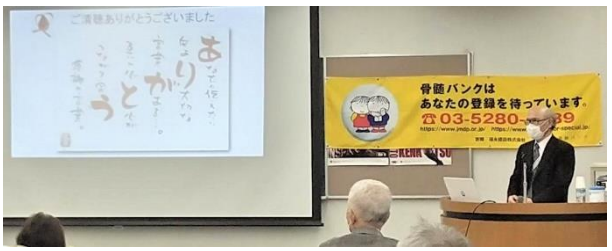
理事長	石 川　淳	現 任	役職変更
副理事長	井 上 雅 美	現 任	役職変更
副理事長	日 野 雅 之	現 任	役職変更
理 事	大 屋 和 之	現 任	
理 事	諫 田 淳 也	現 任	
理 事	木 村 貴 文	現 任	
理 事	椿　和 央	現 任	
理 事	片 岡 智 一	現 任	
理 事	浅 野 祐 子	現 任	事務局
理 事	井 上 清 孝	新 任	事務局
監 事	谷　慶 彦	現 任	
監 事	松 嶋 美恵子	現 任	

河理事長と藤岡専務理事はご退任、顧問にご就任され今後も引き続きご指導いただきます。

2022年度 事業内容

① 会報発行事業
② 講演会開催事業
③ 講師派遣事業
④ 骨髄バンクドナー募集支援事業
⑤ 骨髄バンクドナー登録説明員研修事業
⑥ 骨髄バンクチャリティー事業

「医療講演会」



6月18日(土)大阪府赤十字血液センター会議室にて、理事会・総会終了後に全国骨髄バンク推進連絡協議会・なら骨髄バンクの会との共催で、医療講演会が開催いたしました。河敬世理事長のもと、大阪母子医療センターの澤田明久先生より「小児領域における造血幹細胞移植の現状」、新理事長の大阪国際がんセンターの石川淳先生より「成人領域における造血幹細胞移植の現状」、理事の大阪公立大学附属病院の日野雅之先生より「骨髄バンクの現状と今後の役割」というテーマでご講演いただきました。医療の進歩により、かつては不治の病といわれていた、白血病などの血液難病は優れた抗がん剤が開発され、移植せずとも良くなっていくことが多くなりましたが、移植が必要となった時に血縁者や骨髄バンクでもドナーが見つからない場合は親子間のHLA半合致移植という選択も増えています。患者さんの体調のいいタイミングでできる臍帯血移植もあります。つまり何らかの治療方法があるという希望です。それではもう骨髄バンクのドナーは必要ないのではないか？というとそうではありません。病気の種類や患者さんにもよりますが、三分の一が骨髄バンクの登録者からの提供により移植が行われています。その骨髄バンクの現状はドナーコーディネートの短縮をはかるため、適合通知を郵送に先立ち電話やショートメールを使い、説明や同意確認をWebで行うなどの試みをしているそうです。多くの方の善意や協力により成り立っている「移植医療は感謝の医療」だという先生の言葉が印象的でした。 日々、啓発活動やドナー登録会を実施している私たちも励まされる講演会でした。

参加者より

私が骨髄バンクの説明員になったのは、妻がドナーになったことがきっかけでした。提供までの過程で、コーディネーターさんや担当の医療機関の方々の話を聞き、不安を投げかけていく中で、骨髄バンクの活動に関心を持ち、説明員の養成研修を受けました。 はじめは、登録会にはひと月に数回参加していましたが、コロナの流行とともに登録会の数が減り、参加する機会がほとんどなくなってしまいました。

そんな折、参加した医療講演会で、特に印象に残ったのは次の話でした。一つめは、小児医療のお話の中で、「小児がん」の発生割合は、「血液がん」がもっとも多いということです。病気と闘う小さな命の現状を聞き、移植医療の大切さを改めて実感しました。先生の「我々の目標は小児がんの(できるだけ)後遺症なき治癒率100%」(小児がんがなかったことにしてあげたい)という言葉がとても印象に残っています。 二つめは、HLA型の一致度の話です。我々は登録会で「きょうだい間では4分の1の確率でHLA型が一致するので、まずはきょうだいの中で適合者をさがします」という説明をしていたのですが、HLA型の半分が一致すれば移植を進めることができるということです。 日々、移植医療が進歩していることが分かりました。 三つめは、ポスターのブラックジャックの言葉「天才だけでは、救えない」です。現場や研究者が日夜努力し、医療が進化していることは誰もが知っていることですが、ドナーがいないことには成り立たない医療があるということを広めていく必要があると感じました。私たちの活動は地道ですが、「天才だけでは、救えない」命を救う医療の入り口だと思います。今回の講演会のように、医療現場の進化を自分の中でもアップデートしながら、今後に生かしていかなければならないと思いました。

(奈良在住 説明員 根井)

「近畿地区ブロックセミナー」

医療講演会の後、日本骨髄バンクコーディネーターの方々より、コーディネートの現状などのお話を聞きました。

セミナーに参加された、大阪・兵庫・滋賀・奈良・京都の説明員のみなさん、これから活動を始めたいという方々と意見交換をしました。それぞれの地域での問題やうまくいかないこともありますが、意を一つにし、近畿で府県を越えて情報共有し、協力していくことでまとまりました。

大阪マラソン2023 OSAKA MARATHON　今度こそ！



2022年9月1日大阪マラソン2023のチャリティランナーの申し込み受付が始まりました。前々回は中止、前回大会はエントリーしていただいたにも関わらず直前の出走取消とコロナ禍に翻弄された大会ですが、今度こそチャリティランナーの力走を沿道で応援したいですね！

関西協会ニュースがみなさんのお手元に届くころにはランナーの受付は終了していると思いますが、ランナーの皆さんへの応援チャリティは続いています。チャリティはシンカブルというファンドレイジングサイトを介して実施されます。

このサイトにはhttps://osaka-marathon.syncable.biz/から、

寄附先団体一覧ページには　https://osaka-marathon.syncable.biz/partner　から入れます。

チャリティランナーは皆さんを代表して、たくさんの人から寄付を集めるために走ってくれます！

みんなでしっかり応援しよう!!

ライオンズクラブのみなさまとご一緒に

ライオンズクラブ335―b地区　1リジョン　リジョンチェアパーソンで当会説明員の藤井修氏が進めてくださった、18クラブ40名のメンバー様への新規説明員研修が1月24日にガーデンパレスにて開催されました。

その後、各クラブ様の献血会場にて実地研修を行い、数名の方が骨髄バンク説明員に委嘱されました。

3･4リジョンでも　リジョンチェアパーソンの佐野圭一氏のもと、6月3日に大阪府赤十字血液センター会議室にて16クラブ35名のメンバー様へ研修が開催されました。患者家族や提供経験者が体験を話し、献血と同じように骨髄バンクドナー登録も必要であるとご理解され、各クラブでの献血会場でドナー登録会の併設を進めていただきました。ライオンズクラブメンバー様で骨髄バンク説明員の方がご活躍されています！

その後各クラブ様よりご依頼をいただき、例会での研修や講演もさせていただいております。








青年会議所のみなさまの若い力と

5月27日、堺市大浜公園にて「ASPAC堺高石大会」がおこなわれ、献血併行型ドナー登録会の実施しました。

中島土会頭が献血と骨髄バンクにもご登録くださいました。若いメンバーの皆様とともに、献血だけでなく、骨髄バンクも！という気運が高まっています！







私たちの活動を支えてくださる方々への Thank you！リレーインタビュー ～第5回～

2018年に堺市との協働事業で堺市内の事業所に協力のお願いに回っていた時にご縁ができた大阪ガス株式会社様。

その後、本社でのイベントで骨髄バンクの啓発も一緒に進めてくださり、2019年から本社、2020年からはドームシティガスビルでも献血併行型ドナー登録会を実施いただいています。今回は社員さんへのご参加を呼びかけ、啓発に社内中を飛び回ってくださっている、武田さえみさんよりお話をお聞きしました。

Q1 企業としての社会貢献活動について

Daigasグループでは、1981年(国際障害者年)に従業員の企業ボランティア活動として“小さな灯”運動が発足。この活動を起点とし、「地域社会と共に」「歴史・文化・まち」「スポーツ・健康」「安心・安全」「食」の5つの分野を中心に、地域の価値創造(地域共創)活動に取組んでいます。



武田さえみさん

プロフィール
ご所属:大阪ガスネットワーク株式会社
経歴:1986年大阪ガス㈱入社。
(学生時代から打ち込んできた陸上競技を継続できる実業団の陸上競技部がある大阪ガスに入社)2014年から会社の社会貢献活動に携わる.
お住まい:奈良県
趣味:パン作り、旅行、ボランティア活動

Q2 武田さんのお仕事についてお聞かせください

社内では、Daigasグループ“小さな灯”運動を中心に下記の社会貢献活動を担当
①障がい者支援 ②社会的擁護を必要とする子ども支援 ③被災地支援 ④従業員のボランティア活動支援(都市マラソンボランティア、献血、清掃…)

Q3 御社での献血・骨髄バンク活動について

本社では、毎年2回(真夏と真冬)の血液が不足しやすいと言われている時期に、社内の一番大きなホールで定期的に開催。

Q4 社員さんへの啓発活動はどのように

献血と同日開催につき、開催約1カ月前に各総部部署への周知依頼。全社員が見るポータルサイトへの案内告知、動画配信、社内ポスター掲示、当日の呼びかけ、館内放送など…あの手この手でしつこいまでの告知を実施。

Q5 今後お考えになっていること、ご希望

社内の各事業所で献血のみ実施の組織担当者へ協力依頼の呼びかけを行う。また、他事業所にも献血や骨髄バンク登録の必要性を感じてもらえるよう周知活動の充実化を図りたいと思います。

最後に…
私自身様々なボランティア活動を通じて人のお役にたてることが、自分の喜びにもなり、また明日の活力につながると感じています。グループ従業員にも自然とその輪が広がれば…と願っています。







【ある日の活動から】



4年前、骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」の結団式で初めてお会いし、一緒に移植患者としての体験談をお話しした俳優の樋口大悟さん。私と同時期に骨髄バンクを介し移植を受けたことで共感しました。2年前に再びご一緒したときにご自身の骨髄移植体験を映画化するプロジェクトをお聞きしていました。コロナ禍で困難を乗り越え完成した映画「みんな生きている」～二つ目の誕生日～。移植経験者の樋口さんが企画・主演、来年順次公開されます。公式サイトからぜひご覧ください！

（事務局　浅野）

https://www.min-iki.com/index.html





「活動報告」

1月　ライオンズクラブ335b地区　1リジョン　新規説明員研修（ガーデンパレス）
藤井レイ子さんチャリティコンサート（サンジャン）

2月　スミセイヒューマニー活動　骨髄バンクワークショップ（Zoom）

3月　池田ライオンズクラブ　例会講演
尼崎タイムトライアル骨髄バンク啓発（ヤンマースタジアム）
新規説明員研修
藤井レイ子さんチャリティコンサート（サンジャン）

4月　愛のかけはしチャリティコンサート（夙川公民館）
春団治まつり　骨髄バンク啓発
フィレールの会チャリティコンサート（奈良市音声館）

5月　ゼストプロレス　骨髄バンク啓発
東大阪菊水ライオンズクラブ　東大阪ふれあい祭り
川島弘さんチャリティコンサート（メイシアター）
大阪西淀ライオンズクラブ　例会講演・研修
愛のかけはしチャリティコンサート（布引ハーブ園）
大阪公立大学白鷺祭実行委員　献血・骨髄バンク勉強会
藤井レイ子さんチャリティコンサート（サンジャン）

6月　堺陵東ライオンズクラブ例会　寄付拝受
ライオンズクラブ335b地区3・4リジョン
新規説明員研修（大阪府赤十字血液センター7階）
フィレールの会チャリティコンサート（ピッコロシアター）
第28回理事会・第19回総会
医療講演会（大阪府赤十字血液センター7階）
近畿地区ブロックセミナー（　〃　）













ドナー登録会実績 関西骨髄バンク推進協会　開催分(2022 年1 月～6 月)

大阪府(移動採血バス)

	登録会(回)	登録者数(人)	前年実績(人)
1月	26	192	322
2月	25	168	175
3月	28	230	238
4月	31	275	339
5月	27	215	275
6月	24	179	224
合計	161	1044	1,573

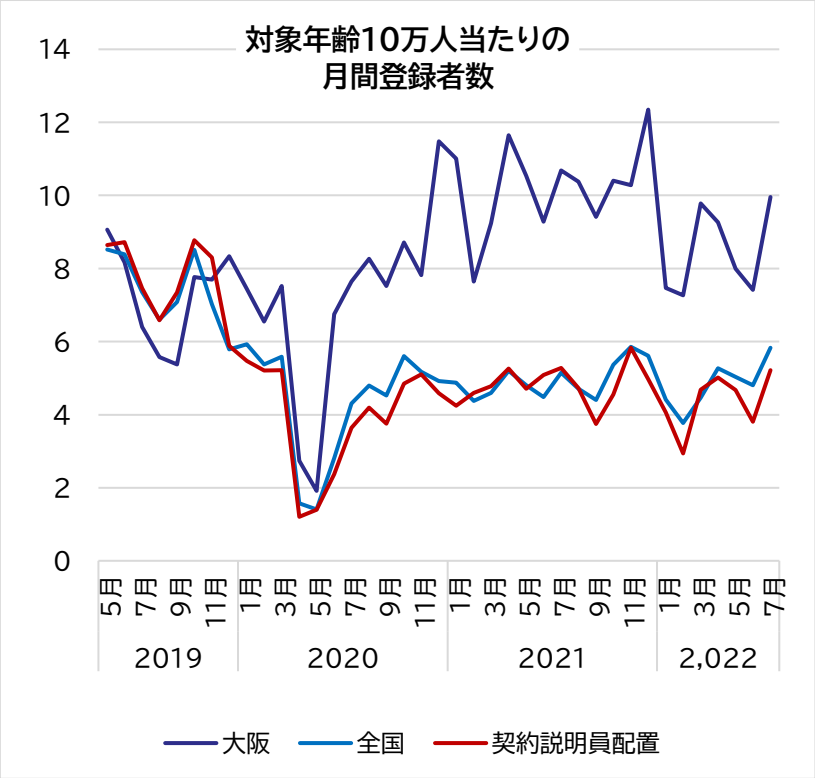
大阪府(献血ルーム)

	登録会(回)	登録者数(人)	前年実績(人)
1月	7	49	62
2月	9	58	74
3月	9	88	71
4月	7	52	73
5月	9	59	89
6月	10	65	84
合計	51	371	453

献血ルーム別実績

献血ルーム	回数	登録者(人)	前年実績(人)
阪急茨木市駅	4	12	30
阪急グランドビル	5	63	63
西梅田	5	26	47
御堂筋 CROSS CAFE	11	95	97
まいどなんば	9	58	71
堺東	5	20	37
あべのKiZooNa	12	97	108
合　計	51	371	453

これまでずっと右肩上がりに登録会数、登録者数が増えていましたが、今期は前年度割れとなりました。
活動できる説明員も減り、登録会に対応できないこともありました。
しかし1、6月のライオンズクラブメンバー様への研修の実施ののちに実地研修を兼ねた、ホテルなど新たな会場で登録会ができました。4月は昨年より新入生に向けた献血会場も増えました。そのおかげで、対象年齢人口10万人当たりの月間登録者数は全国平均や契約説明員が配置されている地域に比べて高いレベルを維持できました。



献血と骨髄バンクの和を広げる会　開催分

京都府北部(真出を除く)

	登録会(回)	登録者数(人)	前年実績(人)
1月	9	24	48
2月	7	16	12
3月	10	20	7
4月	6	18	16
5月	7	27	24
6月	8	18	17
合計	47	123	124

6月に理事交代などあり、新たなスタートです。
5月3日には福知山東ライオンズクラブ例会講演、7月20日は福知山公立大学で約120名の学生さんに体験談をお話しました。学生さんの若い力をお借りして一緒に活動ができたらと考えています。

兵庫県 北部・中部

	登録会(回)	登録者数(人)	前年実績(人)
1月	0	0	0
2月	5	26	0
3月	5	30	27
4月	1	7	0
5月	1	7	41
6月	3	7	10
合計	15	77	78

2月にバス3台会場の加東市役所にて初のドナー登録会が血液センター担当者の尽力で実施されました
献血177名、バンク登録15名でした。4月より説明員が2名となり、増員の必要性を感じます。



寄付者一覧(敬称略、順不同)2022年1月～6月 皆さまのご寄付に心より感謝いたします。

関西骨髄バンク推進協会 個人寄付 合計 143,000円

中野 学*	50,000円	苧坂 和範	5,000円	栄田 慶子さん友人	8,000円	小野 政代	5,000円
伊藤 義弘	30,000円	中田 国光	5,000円	勝賀瀬 君栄	5,000円	匿 名	3,000円
中野 力	10,000円	畑中 年明	5,000円	内田 千恵子	5,000円	大上 武徳	2,000円
三鼓 良子	10,000円	＊72号寄付の欄で金額の記入ミスがありました、改めて掲載させていただきます。					

関西骨髄バンク推進協会 団体寄付 合計 1,900,033円

フィレールの会(2回分) 出演者様	17,000円	フィレールの会(2回分) 来場者様	93,700円
サンジャン(3回分)	72,504円	愛のかけはし(2回分)	101,880円
川島弘さんコンサート	107,480円	住友生命保険相互会社	93,432円
堺陵東ライオンズクラブ	345,829円	摂津ライオンズクラブ	10,000円
池田ライオンズクラブ	50,000円	大阪さくらライオンズクラブ	50,000円
大阪マラソン チャリティ	731,308円	全日本フルコンタクト空手道連盟	150,000円
イエローレシート マックスバリュ平野駅前	30,600円	イエローレシート イオン大日	46,300円

手作り品のご提供:山本久仁子、布遊びの会、土浦折り紙の会

献血と骨髄バンクの和を広げる会 個人寄付 合計226,117円

藤岡 孝	60,000円	藤岡八重子	79,117円	久保七千代	7,000円	匿 名	60,000円
芦田輝久	10,000円	芦田淑子	10,000円				

手作り品のご提供: 松本加代子、藤岡八重子







編集後記

骨髄バンクのボランティア活動はご多分に漏れず高齢化とコロナ禍の影響で全国的に活動の停滞と団体の自然消滅が続いています。骨髄バンクの更なる拡充と発展を誰もが望んでいるという認識自体がごく一部のもので、一般とは既にずれているのではないかとの危惧を抱いています。みなさんはどう思われますか？

お振込先 郵便振替口座 00970-3-64270 特定非営利活動法人 関西骨髄バンク推進協会

りそな銀行／京阪京橋支店 普 通 6195718 NPO法人 関西骨髄バンク推進協会

京都北都信用金庫/前田支店普 通 1079002 NPO法人 献血と骨髄バンクの和を広げる会

*本会報は団体賛助会員 NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会の会報として 報告を兼ねております

NPO法人 関西骨髄バンク推進協会
〒536-0025
大阪市城東区森之宮2-4-43
大阪府赤十字血液センター 新館6階
MAI:kansaikyokai@sirius.ocn.ne.jp

NPO法人 献血と骨髄バンクの和を広げる会
〒620-0855
京都府福知山市土師新町3-121
MAIL:wawohirogerukai@gmail.com